

## 平成26年度の主な事業報告

社会福祉法人 福岡愛育福祉会

※1年間の事業内容を具体的に記入してください。

## 社会福祉事業

- 法人全体としては平成26年度は、前回の指導監査（平成25年10月実施）に指導を受けた事項に十分留意して運営を実施しました。  
また、平成26年4月1日から新会計基準へ移行しました。この一年改正した経理規程に沿って会計処理を行い、財務諸表等を作成しました。  
新規に開設した指定特定相談支援事業玄海学園についての詳細は学園で触れますが、糸島市の依頼に準じて事業展開を行いました。  
最後に役員についてですが、法人設立当初から長きに渡って地元との調整や行政機関との交渉に多大にご尽力いただいた吉村勝太理事がご逝去され退任されましたので前糸島市市議会議員の吉村勝氏に就任していただきました。
- 玄海第一育生園では、平成26年6月より利用者を新規に1名受け入れ、職員配置においては生活支援員の退職に伴い、6月より1名採用しました。  
予算の執行においては、4月からの消費税率引き上げに伴う微少な報酬上乘せがなされましたが、大きな変動は無く、今年度も必要な加算申請を行い、事業収入の確保に努めました。また、利用者の出席率も98%と高い水準となり安定した収入を得ることが出来ました。  
就労支援事業において、福栄商会（自転車パーツ下請作業）からの受注低迷が続いていたため、7月をもって取引を終了しました。  
また、食品加工事業において、パン・ラスク製造販売を軌道に乗せるために作業場移転に必要な拡張改修工事並びに機械の移設、備品購入等を行い作業環境を整えました。また、日本財団より送迎用軽車両の助成が決定したため、移行時特別積立資産を取り崩し購入費用の一部に充てました。  
その他の設備整備では、改修した作業室へのエアコン整備及びトイレへ自動手洗い器の設置、プレハブ倉庫の移設等を行いました。
- 玄海学園では、居室及びダウンライト・外灯のLED照明への取り替え、男子脱衣所のバリアフリー化、防犯カメラの設置等設備面を充実させ、利用者により快適な生活環境を提供しました。  
LED照明への取り替えは、平成25年度の館内・食堂等の照明のLED化に引き続き行いました。LED化することで居室の中も明るくなり、電気代の削減や交換の手間の解消につながりました。また、男子浴室脱衣所のバリアフリー化は、床面をフラットにし、浴室の扉を2枚から3枚に変えることで開口部が広くなり、段差を気にすることなく移動ができ、脱衣所から浴室への人の動線もスムーズになりました。  
防犯カメラを利用者のプライバシーに配慮し居室以外の館内に16台設置しました。カメラを設置する前は、支援者の気付かないところで起きていた怪我等の原因究明が困難となるケースもありましたが、設置後は録画の機能により原因が明らかとなるケースが増え、事故・怪我の防止対策を講じることが出来るようになりました。  
また、余暇の時間を充実させるため、土・日・祝日の開園日を設け（実績は10日間）、外出支援等を行いました。  
4月から開始した計画相談支援では、玄海学園利用の糸島市の方18名と春日市の方1名のサービス等利用計画の作成を行いました。  
最後に、将来の建替に備えて施設等整備積立金に1,000万円積立てました。
- 井田原ホームでは、平成26年度の利用者は、昨年一昨年度と同様に、男性2名・女性合計5名の方が年間を通じて利用されました。  
自立した日常生活を営むことが出来るよう、利用者のニーズを踏まえ個々のニーズに合った適切なサービスの提供に努めました。  
特にホームへ日中活動から帰ってきてからの買い物支援では、商品（衣類・靴等）の選択に時間がかかり何度も店に通って購入されていた方が、支援を重ねていく中で支払いや商品選択がスムーズになり、商品によっては一人で店に行かれ購入できるようになられたりしました。

公益事業

収益事業